

いつ跳ぶの？ 今でしょ！

A 班：及川・塩澤・東島・山中

《はじめに》

私たちは『二十歳の頃』を進めるにあたって、調べる企業について考えたときに**日本が世界に誇れるモノ**について調べようと思いました。

その中で一番身近にあったモノが**文房具**でした。そこから文房具業界に目を向けてみると様々な企業があることを知りました。なかでも私たちが興味を惹かれた企業が、筆記具の**国内シェア 1 位、世界でも 3 位**と輝かしい業績を誇る**株式会社パイロットコーポレーション**さん(以下略称)でした。

様々な企業がある中で、このような業績を誇るパイロットさんはどのような商品を製作・販売し、またそこで働く人たちはどのような二十歳の頃を過ごしていたのかが気になったため、取材させていただきました。

《今回取材させていただいた方》



原田様

- ・ 人事部 人事課 係長
- ・ 42 歳
- ・ 自社のオススメ商品は・・・フリクション



- ・ 人事部 人事課
- ・ 31 歳
- ・ 自社のオススメ商品は・・・万年筆

《インタビュー内容》

① お二人の二十歳の頃

： 大学時代はバドミントン部に所属していて、学生生活の**メインは部活動**だったそうです。そして、部活動がない春や夏の長期休みの期間を利用してアルバイトを入れていたとのことでした。

[] : 富山出身ということもあり、大学に入学すると同時期に上京したそうです。
最初は色んな人がいる**慣れない環境で戸惑う**ことも多かったそうですが、大学で所属していた写真部、アルバイトをしていたコンビニなどで交友を広げていき、次第に慣れていったとのこと
です。

② 二十歳の頃に経験して良かったこと、また現在に繋がっていること

[] : 大学四年間通してやってきた部活で、“**チームで動くこと**”や“**壁にぶつかった時に自分がどれだけ頑張れるか**”ということが身につき、それが現在の自分に繋がっているとのこと
です

[] : 大学生時代はインドア派だったということもあり、家でずっと考え事をしているような学生だったそうです。しかし、次第に“**このままじゃいけない**”と思うようになり、**失敗してもやってみよう、飛び込んでみよう**という気持ちをもつようになったそうです。学生時代にこのことに気づけたのが1番強かったとのこと
です。

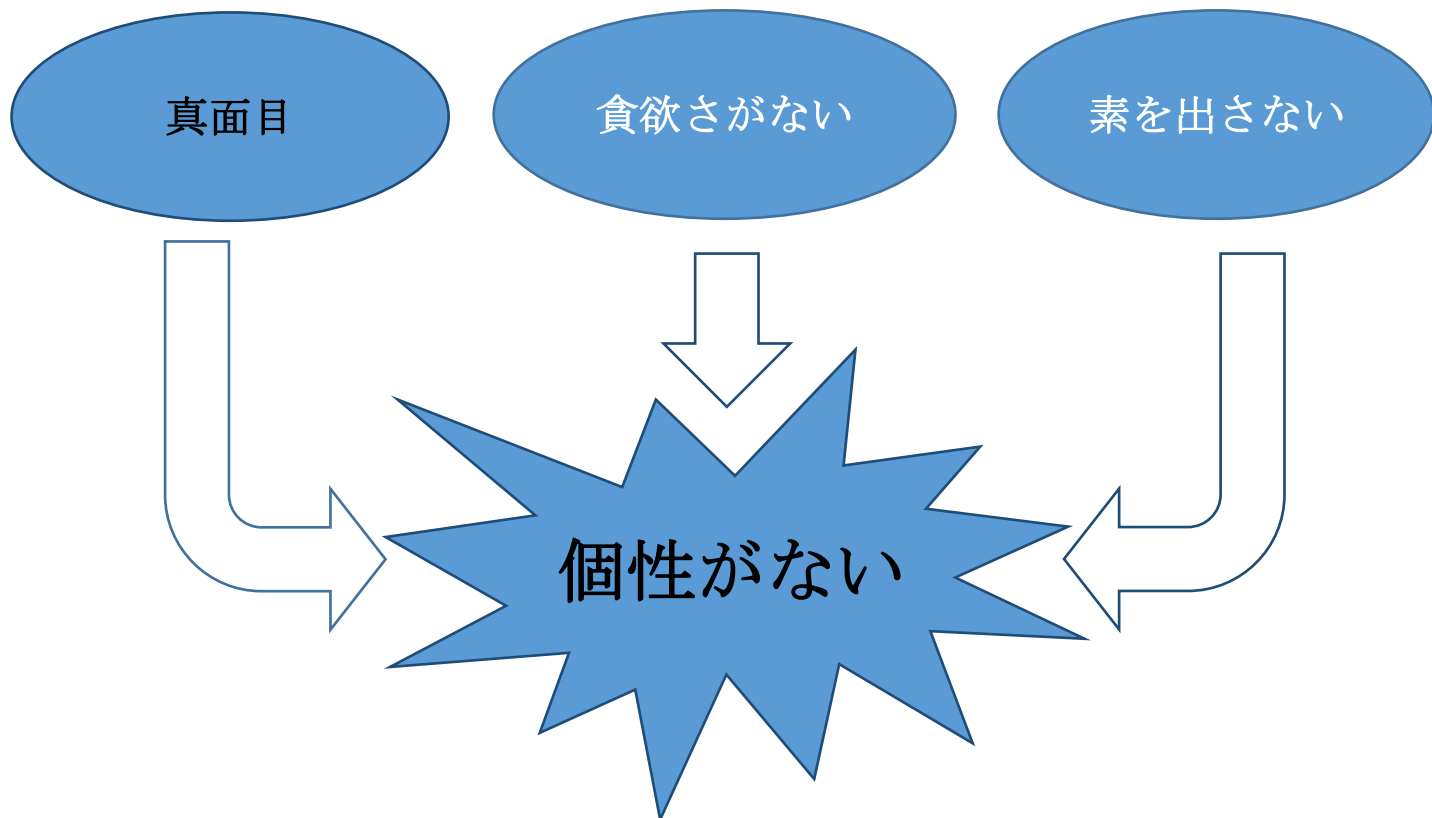
③ 二十歳前後に抱いていた将来像と現在の違い

[] : 漠然と描いていたものとしては、サラリーマンになって生活することだったそうです。
自分が学生の時は、学生が1番多かった時代なので、まずは“目の前のことを”という意識が強かったようです。
しかし、昔思い描いていた41歳の自分とは少し違和感を感じているそうで、そんなに“**大人でもない**”と思うとのこと
です。

[] : 学生時代、何かやりたいという気持ちはあったそうですが、それをどうすれば計画し実行できるかなど、わからないことだらけだったそうです。将来について他人に聞いても曖昧で、かなり漠然としたものだったようです。
そういうことから、ひとつ何かやりたいことを見つけることはいいことだが、それよりは色々な方向を自分で“**見て・感じて・向き合い・考える**”ことが必要だと感じたとのこと
です。

④ 今の学生の印象、私たちへのアドバイス

[] [] : お二人とも最近は“**真面目・欲がない・素をなかなか出さない**”学生が多い印象のよう
です。人事課の人間としては、真面目な方ももちろんいいのですが、食欲な人間が少なくなっている
ので、そういう人もいてもいいとおっしゃっていました。
とにかく素をなかなか出さない人が増えているので、もっと色々な面を見せて、**個性**を
どんどん出してってもらいたいとのこと
です。



《最後に》

今回、企業で働く方の生の声を聞く貴重な機会をいただいて、これからの学生生活を豊かにしていけるような話をたくさん伺うことができました。

なかでも、まず印象に残った言葉は、「学生に戻れるとしたら？」という質問に、お二人とも「様々なことにもっとチャレンジしたい」とおっしゃっていたことです。

大学生活が始まって約一年。自分が思うに、長いようであつという間のめまぐるしい日々でした。その中で自分自身がどのようなことに挑戦できたか？

…実際はやりたいことの半分も出来なかったような気がします。

「気になることには積極的に挑戦してほしい」とのお言葉に、時間がある学生時代、失敗を恐れずに色々なことに挑戦したいと改めて強く感じました。

たとえ失敗したとしても、それも経験のうちの一つ。それ以前に何か行動しないことには成功も失敗もありません。そして前進したなかで自分のやりたいこと見つけていきたいと思いました。

今回の企業訪問は、自分自身を改めて見つめ直すとても良い機会になりました。この経験を踏まえて、これからのゼミ活動や日々の大学生活に生かせる様、より一層努力していきたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な機会を設けてくださった株式会社パイロットコーポレーションの原田様、高橋様に心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。